



牛窓の歴史・文化が一堂に

牛窓エーゲ海フェスティバル
朝鮮通信使再現行列

「牛窓エーゲ海フェスティバル2007」が11月11日、出島公園で開催されました。

会場には、野菜・鮮魚などの特産品販売や地域団体・企業の出店があり、朝から大勢の人でにぎわいました。ステージでは、牛窓伝統芸能の唐子踊や綾浦・栗利郷太刀踊、牛窓西小学校の児童たちによるサムルノリとプチェチュム（扇の舞）が披露され、観客の皆さんから大きな拍手が送られていました。

また、本年は朝鮮通信使訪日40周年記念事業イベントとして、11月10日に岡山市新西大寺町商店街から表町商店街までを、11月11日にエーゲ館うしまどから出島公園までを、朝鮮通信使再現行列が行進しました。チマチヨゴリなどの衣装を身にまとった総勢170人の異国情緒あふれる大行列は、沿道の観客を魅了。また、韓国密陽市の弘済中学校の皆さんが、密陽市の伝統芸能「オプクチュム」（五つの太鼓の踊り）を披露し、行列に華を添えました。



総勢170人の朝鮮通信使再現行列が牛窓を行進（11月11日）



朝鮮通信使セレモニーでは、駐大阪大韓民国総領事館神戸事務所の李庚煥所長（右）と立岡脩二市長が、日韓の善隣友好を願い「国書」を交換



岡山市表町商店街のアーケード内を朝鮮通信使再現行列が練り歩きました（11月10日）



密陽市伝統芸能「オプクチュム」



牛窓西小学校児童によるプチェチュム（扇の舞）



大勢の人が詰め掛けた特産品販売

お互いの交流発展へ向けて

密陽市長が瀬戸内市を表敬訪問
両市の中学生も相互交流

11月10日、瀬戸内市と友好交流協定を結んでいる、韓国密陽市の嚴龍洙市長ら訪問団一行8人が瀬戸内市役所を表敬訪問し、今後の産業・文化・スポーツなどの交流発展を話し合いました。

11日には牛窓エーゲ海フェスティバルに参加して、朝鮮通信使再現行列を見学。その後、海遊文化館や本蓮寺などの朝鮮通信使ゆかりの施設を

興味深く視察しました。また、密陽市から訪れた東国大付属弘済中学校と牛窓中学校の生徒たちの交流会が11日、牛窓支所で行われました。

最初はお互い緊張した様子でしたが、次第に打ち解けた牛窓中の生徒たちが用意したプレゼントを贈呈。同世代の生徒たちは、楽しそうに交流会を進めていました。



牛窓エーゲ海フェスティバルで、特産品販売を見て回る訪問団



今後の交流に向けて、思いを語る嚴密陽市長（左）



すっかり打ち解けた両市の中学生

伝統芸能の狂言を楽しむ

狂言師が裳掛・玉津小学校児童を実技指導

裳掛小学校で10月16日、児童たちに伝統芸能の楽しさや素晴らしさを知ってもらおうと、文化庁の芸術家等派遣事業の一環として狂言が披露されました。

狂言に親しんだのは、裳掛・玉津の2小学校、5・6年生43人。田賀屋狂言会の狂言師、田賀屋夙生さんと島田洋海さんが、児童たちに狂言の面白さやしぐさ

などの実技指導を行いました。児童たちは、笑い方や泣き方、歩き方などを実際に体験。「柿山伏」「附子」のせりふの練習も行い、今まで見たことのない狂言の面白さを満喫しました。

玉津小6年の木下葵さんは、「体を張って表現するところと言葉が面白かったです」と感想を話していました。



「附子」の一場面の練習をする児童たち